

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
論理国語		2	全日制・普通科・2年次		高等学校 論理国語(第一学習社)			
科目の目標		(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
時期	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 ＜単元の評価規準＞	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科等横 断的な視点等
通年	・授業冒頭5分ずつ説明的文章や評論などさまざまな文体を通読 ・週1回漢字の小テストを実施 ・週1回現代文単語小テストを実施							
4月 2～3週	評論(一)	B読むこと	4	① 知識・技能 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。(1)イ ② 思考・判断・表現 言い換えや比喩を用いながら、自他の関係性について論じる叙述の方法を理解する。(B(1)ア) 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。(B(1)カ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く本文の構成と各段落の関係を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。	記述の点検(ノート) 記述の点検(ワークシート) 記述の分析(ペーパーテスト)	○文章を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解する。 ○筆者の言う「多様性を認める」ことについて、自らの経験に照らしながら考察を深める。	社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等]B(2)イ)	自他の「間あい」(鷲田清一)
4月 4週～5月 2週	評論(二)①	B読むこと	4	① 知識・技能 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。(1)イ 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。(2)イ ② 思考・判断・表現 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。(B(1)ア) 筆者の述べる西洋と日本の「自然」を対比的につかみ、筆者の問題意識や執筆意図に目を向ける。(B(1)カ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 「自然」という言葉について、それぞれの例における意味内容の違いを粘り強く説明しようとしている。	記述の点検(ノート) 記述の点検(ワークシート) 記述の分析(ペーパーテスト)	○具体例が示しているものを丁寧に読み取り、筆者の主張を理解する。 ○西洋と東洋の「自然」についてTチャートを活用し、まとめる。	学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)ウ)	日本人の「自然」(木村敏) 評論のしるべ 「地歴・公民」との連携
5月 3週～6月 1週	論理研究 一推論	B読むこと	6	① 知識・技能 推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。(1)イ ② 思考・判断・表現 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検証し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を学ぶ。(A(1)ア) ③ 主体的に学習に取り組む態度 複数の文章を粘り強く読み、推論について理解したことを生かして積極的に誤りを指摘しようとしている。	記述の点検(ワークシート) 記述の点検(ワークシート) 記述の分析(ワークシート)	○「演繹法」、「帰納法」で身近な事象について考察する。 ○主張のための根拠を示すために重要なことをまとめる。	伝統的な研究方法である「演繹法」、「帰納法」を実際に体験し、自分の推論や考えを論述したり発表したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)ウ)	帰納法のワナー 一般化に対する疑問(谷岡一郎)
6月2週 ～7月1週	評論(四)	B読むこと	6	① 知識・技能 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。(1)エ 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。(2)ア) ② 思考・判断・表現 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。(B(1)ア) アリの生態の紹介から人間社会の問題点へと展開する論の構造を読み取り、筆者の主張を理解する。(B(1)オ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 実験をふまえて結論に至った論理の展開を表形式で積極的にまとめようとしている。	記述の点検(ノート) 記述の点検(ワークシート) 記述の分析(ペーパーテスト)	○論理展開が明確な評論文の読解を通して、論理展開を丁寧にたどる姿勢と力を養う。 ○「ともに生きる」ことについて、自分自身のあり方も踏まえて理解を深める。	論理の展開について表にまとめ、文章の妥当性や信頼性を他の文章、研究成果から吟味する活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)エ)	働かないアリに意義がある(長谷川英祐) 評論のしるべ 「理科」との連携
7月1～ 2週	レポートを書く	A書くこと	8	① 知識・技能 文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。(2)ア) ② 思考・判断・表現 資料から客観的な実態を取り出す方法を理解する。(A(1)ア) 情報を多面的・多角的な視点から分析し、報告するテーマを決める方法を学ぶ。(A(1)イ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 教科書の例を参考に、集めた資料から粘り強く実態を読み取り、積極的に疑問点をあげようとしている。	記述の点検(ワークシート) 記述の点検(ワークシート) 記述の分析(ワークシート)	○「価値のある情報発信」を意識し、対象を「読む」方法を習得する。 ○新たな問いを生むことの意味について考える。	設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等]A(2)エ)	・資料を集めて情報を整理する 得られた情報を分析して報告するテーマを絞り込む
9月1～ 2週	評論(五)	B読むこと	4	① 知識・技能 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。(1)ウ) 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。(2)ア) ② 思考・判断・表現 「生物多様性が必要だ」という筆者の主張を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。(B(1)ア) 動的平衡という視点から生態系を捉える筆者の主張を把握し、生物多様性が必要な理由について考察する。(B(1)ウ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 生物多様性の必要性について述べた本文を粘り強く読み、学習課題に沿って内容の理解を深めようとしている。	記述の点検(ワークシート) 記述の点検(ワークシート) 記述の分析(ワークシート)	1 ○話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。指示表現が指す内容を明らかにすることで、本文内容を的確に捉える。 2 ○本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。本文理解に欠かせないキーワードを見つけ、内容を的確に理解する。	論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等]B(2)ア)	なぜ多様性が必要か(福岡伸一) 評論のしるべ

9月3週 ～10月 2週	読み比べーコ ミュニケーション	B読む こと	6	① 知識・技能 文章と文章との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。(1)ウ)	記述の点検 (ワークシート)	○コミュニケーションに関する二つの文章を読み、コミュニケーションをする上で重要なことについて考え、共有する。 ○限られたスペースの中で、伝えたい情報を整理し、正確に伝わる文章の書き方を身につける。レイアウトを工夫し、読み手を引き付ける紹介文の作成の仕方を身につける。	特定の資料について、様々な観点から概要などをまとめる活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] A(2)ア)	対話の意味(細川英雄) 身体的表現の関係性(野村雅一)	観光地紹介を書く 修学旅行事前学習
10月3週 ～11月 2週	評論(六)	B読む こと	8	① 知識・技能 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。(1)ア) 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。(1)エ)	記述の点検(ノート)	○身体の特徴とメディアの特徴に着目し、「第二の身体」と表現する意味を理解する。 ○「情報」の働きについて考え、自らが豊かな「情報」の使い手となる意識を持つ。	論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり議論したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)ア)	「第二の身体」としてのメディアと技術(若林幹夫) 評論のしるべ	「情報」との連携
11月3週 ～12月 2週	評論(三)	B読む こと	6	① 知識・技能 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で正しく活用している。(1)イ)	記述の点検(ノート)	○『欠落』や『無』が重要な役割を果たしている芸術作品について、調査したことをまとめたり発表したりする。(B(1)ウ)	小説の文章の特徴について書かれた説明文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論証したり議論したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)イ)	手の変幻(清岡卓行) 評論のしるべ	越境する動物がもたらす贈り物(矢野智司) 評論のしるべ
11月3週 ～12月 2週	評論(三)	B読む こと	6	② 思考・判断・表現 「『欠落』や『無』が重要な役割を果たしている芸術作品」について、調査したことをまとめたり発表したりする。(B(1)ウ)	記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ペーパーテスト)	○筆者の感性や着眼点、表現の特徴について整理し、主張に説得力を持たせるための論展開について考える。(B(1)カ)			
11月3週 ～12月 2週	評論(三)	B読む こと	6	③ 主体的に学習に取り組む態度 積極的に「異類婚姻譚」で描かれる「悲劇」について調べ、表現の仕方を工夫して説明することで自分の考えを深めようとしている。	記述の確認 (振り返りシート)				
1月2週 ～4週	実用文(一)	A書く こと	6	① 知識・技能 自分の考えが的確に伝わる文章になるように、表現のしかたを工夫する。(1)エ) 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めようとする。(2)イ)	記述の点検 (ワークシート)	○二種類の実用的な文章を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけて解釈する方法を理解する。 文章の構成や表現のしかたについて学習する。	設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] A(2)エ)	法に関わる文章を読み比べる	ボランティアへの参加を伝えるメールの文章を検討する
1月2週 ～4週	実用文(一)	A書く こと	6	② 思考・判断・表現 二種類の実用的な文章を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけて解釈する方法を学ぶ。(A(2)ウ)	記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート)				
1月2週 ～4週	実用文(一)	A書く こと	6	③ 主体的に学習に取り組む態度 異なる形式で書かれた複数の実用的な文章を粘り強く読み、解釈したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。	記述の確認 (振り返りシート)				
2月1週 ～4週	小論文を書く	A書く こと	6	① 知識・技能 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。(1)エ)	記述の点検 (ワークシート)	○課題の文章を読んで情報を整理し、自分の考えを小論文にまとめる。	設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] A(2)エ)	「情報」との連携	
2月1週 ～4週	小論文を書く	A書く こと	6	② 思考・判断・表現 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の長所や課題を捉え直す。(A(1)カ)	記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート)				
2月1週 ～4週	小論文を書く	A書く こと	6	③ 主体的に学習に取り組む態度 自分の論点を明確にして適切な根拠をそろえ、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫して説得力のある小論文を書こうとしている。	記述の確認 (振り返りシート)				
3月1週 ～2週	評論(一) 評論(二) 評論(三) 評論(四) 評論(五) 評論(六)	B読む こと	6	① 知識・技能 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 筋道を立てて考えることを通して理解を深め、内容の解釈を深めている。(2)ウ)	記述の点検(ノート)	○教科書の文章から一つ題材を選び、読解を深める。 ○選んだ題材から自分の知識や考えをまとめレポートを書く。	関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)オ)	評論(一)～ (六)の中で授業で扱っていない評論文	
3月1週 ～2週	評論(一) 評論(二) 評論(三) 評論(四) 評論(五) 評論(六)	B読む こと	6	② 思考・判断・表現 「読むこと」において、新しい人と自然をつなぐモラルについて、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(B(1)カ)	記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ペーパーテスト)				
3月1週 ～2週	評論(一) 評論(二) 評論(三) 評論(四) 評論(五) 評論(六)	B読む こと	6	③ 主体的に学習に取り組む態度 学習課題に沿って、ある場面における自分自身をさす語の選択について積極的に考え、発表しようとしている。	記述の確認 (振り返りシート)				
領域 ごとの 指導 時間	話すこと・聞くこと								
	書くこと		20						

問 数 の 計	読むこと	50
指導時間数の合計		70